

上海外国语大学

日本文化经济学院

2003 年度攻读日本语言文学专业硕士学位入学考试

翻译试卷

(总分 150 分, 三小时内完成)

一、次の日本語文章を中国語に訳しなさい。(30 分)

むし暑い、ある六月の日曜日……。

わたしは、人ごみに埋まった駅前のデパートの屋上で、二人の子どもの守りをしながら、雨あがりの、腫れぼったくむくんだような街を見おろしていた。

ちょうど人が立ち去ったばかりの、通風筒と階段の間の一人用のすきまを見つけ、すばやく割り込んで子どもたちを順に抱きあげてやったりしているうちに、子どもたちはすぐ飽きてしまって、今度は自分が夢中になっていた。しかし、特別なことではなかったと思う。実際、手すりにへばりついているのは、子どもよりおとなが多い。子どもたちはたいていすぐ飽きてしまって、帰ろうとせがみだすのに、仕事をじゃまされでもしたようにしかりつけて、うっとりともた手すりの腕にあごをのつけるのはおとなたちなのである。

むろん、少々、後ろめたいたのしみかもしれない。だからといって、ことさら、問題にするほどのことだろうか。わたしはただぼんやりしていただけである。少なくとも、あとになって思い出す必要に迫られるようなことは、なにも考えていなかったはずだ。ただ、しめっぽい空気のせいかな、わたしは妙にいらだたく、子どもたちに対して腹をたてていた。

上の子どもが、怒ったような声で、「父ちゃん。」と叫んだ。わたしは思わず、その声から逃れるように、ぐっと上半身を乗り出していた。といっても、ほんの気分上のことで、危険なほどだったとは思えない。ところが、ふわりとからだは宙に浮き、「父ちゃん。」という叫び声を聞きながら、わたしは墜落しはじめた。

落ちるときそうだったのか、そうなって落ちたのかは、はつきりしないが、気がつくとなんか一本の棒になっていた。太からず、細からず、ちょうど手ごろな、

一メートルほどのまっすぐな棒切れた。

(安部公房『棒』)

二、次の日本語文章を中国語に訳しなさい。(45文)

ある日の夕暮なりしが、余は獣苑を散歩して、ウンテル・デン・リンデンを過ぎ、わがモンビシュウ街の僑居に帰らんと、クロステル巷の古寺の前に来ぬ。余はかの灯火の海を渡り来て、この狭く薄暗き巷に入り、楼上の木欄に干したる敷布、襦袢などまだ取り入れぬ人家、頬髭長きユダヤ教徒の翁が戸前にたたずみたる居酒屋、一つの梯はただちに楼に達し、他の梯は寄住まいの鍛冶が家に通じたる貸家などに向いて、凹字の形に引っこみて立てられたる、この三百年前の遺跡を望むごとに、心の恍惚となりてしばしたたずみしこと幾度なるを知らず。

いまこのところを過ぎんとするとき、とざしたる寺門の扉に倚りて、声をのみつつ泣くひとりの少女あるを見たり。年は十六七なるべし。かむりし巾を洩れたる髪の色は、薄きこがね色にて、着たる衣は垢つきよごれたりとも見えず。わが足音に驚かされてかえりみたる面、余に詩人の筆なければこれを写すべくもあらず。この青く清らにて物問いたげに愁いを含める目の、半ば露を宿せる長き睫毛におおわれたるは、何故に一顧したるのみにて、用心深きわが心の底までは徹したるか。

彼は料らぬ深き歎きにあいて、前後をかえりみるいとまなく、ここに立ちて泣くにや。わが臆病なる心は憐憫の情に打ち勝たれて、余は覺えずそばに倚り、「何故に泣きたもうか。ところに繫累なき外人は、かえりて力を借しやすきこともあらん」といいかけたが、われながらわが大胆なるにあきれたり。

彼は驚きてわが黄なる面をうち守りしが、わが真率なる心や色にあらわれたりけん。「君はよき人なりと見ゆ。彼のごとく酷くはあらず。またわが母のごとく」しばし涸れたる涙の泉はまたあふれて愛らしき頬を流れ落つ。「われを救いたまえ、君。わが恥なき人とならんを。母はわが彼の言葉に従わねばとて、われを打ちき。父は死にたり。明日は葬らではかなわぬに、家に一銭の貯えだになし」。

あとは歎歎の声のみ。わが眼はこのうつむきたる少女のふるう項にのみ注がれたり。

(森鷗外『舞姫』)

三、次の中国語文章を日本語に訳しなさい。(30分)

鲍仁文跟着老胡，在县一招住了三天。说是合作，其实就是鲍仁文提供材料，老胡执笔。写完之后，再让鲍仁文看一遍，看有哪些地方失真，不符合事实的，鲍仁文指出后，老胡就改去。弄了两天，鲍仁文只动了嘴，却没有动笔，心里是很不过瘾的。

而这三天与老胡的接触，确使他打破了一些对记者的神秘感。他没料到记者也是和他一样的人，要吃饭，要睡觉，睡觉还打呼，打得如雷贯耳，害得他两宿没睡踏实。而且他晓得了老胡比他小三四岁，插过队，然后自学成才，进了报社。他有时请鲍仁文喝酒，喝过了就发牢骚。抱怨自己没有文凭，如何地吃不开。房子挤，工资低，奖金制尚在争取之中，等等，等等。鲍仁文只是不明白，从事这么崇高的事业的人，怎么会有这么多俗事的困扰。而有了这许多繁杂俗事的打扰，还怎么能够对人类的灵魂开展工作！

(王安忆《小鲍庄》)

四、次の中国語文章を日本語に訳しなさい。(45分)

我从十二岁起，便在镇口的咸亨酒店里当伙计，掌柜说，样子太傻，怕伺候不了长衫主顾，就在外面做点事罢。外面的短衣主顾，虽然容易说话，但唠唠叨叨缠夹不清的也很不少。他们往往要亲眼看着黄酒从坛子里舀出，看过壶子底里有水没有，又亲看将壶子放在热水里，然后放心；在这严重监督之下，麝水也很为难。所以过了几天，掌柜又说我干不了这事。幸亏荐头的情面大，辞退不得，便改为专管温酒的一种无聊职务了。

我从此便整天的站在柜台里，专管我的职务。虽然没有什么失职，但总觉得有些单调，有些无聊。掌柜是一副凶脸孔，主顾也没有好声气，教人活泼不得；只有孔乙己到店，才可以笑几声，所以至今还记得。

(鲁迅《孔乙己》)